

週報

(教会目標)

携拳 (空中再臨)

主は、号令と、御使いのかしらの声と、神のラツパの響きのうちに、ご自身天から下って来られます。

それからキリストにある死者が、まず初めによりみがえり、次に、生き残っている私たちが、たちまち彼らといっしょに雲の中に一拳に引き上げられ、空中で主と会うのです。

このようにして、私たちは、いつまでも主とともにいることになります。

第一テサロニケ人へ手紙4章16節〜17節

地上再臨

そして、日と月と星には、前兆が現れ、地上では、諸国の民が、海と波が荒れどよめくために不安に陥って悩み、人々は、その住むすべての所を襲おうとしていることを予想して、恐ろしさのあまり気を失います。天の万象が揺り動かされるからです。

そのとき、人々は、人の子が力と輝かしい栄光を帯びて雲に乗って来るのを見るのです。これらのことが起こり始めたなら、からだをまつすぐにし、頭を上へ上げなさい。贖いが近づいたのです。

ルカの福音書21章25節〜28節